

消化器外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	膵癌における腹腔細胞診 (CY) 陽性の予測因子を探索する全国多機関症例集積後方視的研究
研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 外科学講座 (職名) 教授 (氏名) 佐野 力
研究の対象となる方	2017年1月から2024年12月までに膵癌と診断され、手術時に腹腔細胞診を施行した患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2027年12月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 膵癌における腹腔細胞診陽性と治療前検査項目を含む臨床病理学的因子および切除可能性分類との関連を解明し、腹腔細胞診陽性の予測因子を明らかにすることを目的としています。 〔利用方法〕 臨床データを電子カルテより収集し、腹腔細胞診の結果および臨床病理学的因子を探索します。 〔外部への試料・情報の提供〕 試料・情報は個人が特定できないようにし、電子的配信等により共同研究機関へ提供します。 〔外部への提供開始日〕 研究実施承認後
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、手術所見、組織所見、生存期間、転帰等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	富山大学学術研究部医学系 消化器・腫瘍・総合外科 教授 藤井努
試料・情報を利用する学外の者	富山大学学術研究部医学系 消化器・腫瘍・総合外科 教授 藤井努
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年12月31日までに電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。

場合	
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 外科講座 消化器外科 担当者：講師 安藤公隆 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22121)